

## 文章を書くことが苦手な児童の作文指導(2)

### アセスメントの実施

#### 「MIM-PM」及び「絵の読み取り検査」等の実施



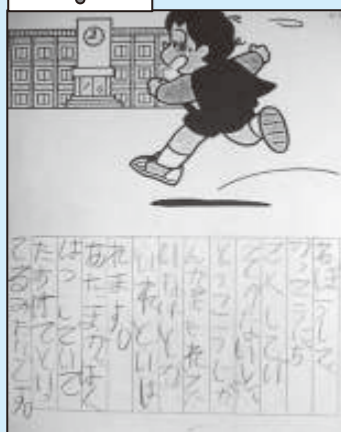
2つの検査の結果から、次のようなことがわかりました。

#### 【MIM-PMの結果から】

○特殊音節のある単語の読み書きの間違が多い。

#### 【絵の読み取り検査の結果から】

(指導開始時の「書き」の様子)  
「ねぼうして、がつこうに、ちこくして、いそがないと、とうこうじかんがまもれていないと かいれといはれます。  
あたまがぼくはつしててたすけてといってるみたいです。」



### 指導目標と指導の手だて

- 自分で書いた文章の見直しができるようになろう!
- 100字程度の文章を書くことができるようになろう!

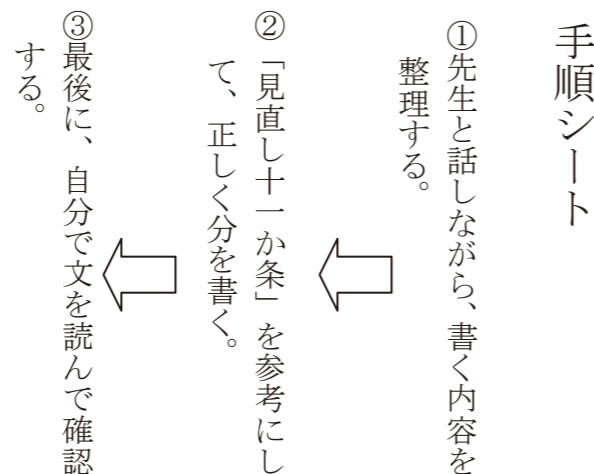
子供と一緒に目標を考えました。

### 指導の手だて

- ★手順シート
- ★見直し十一か条

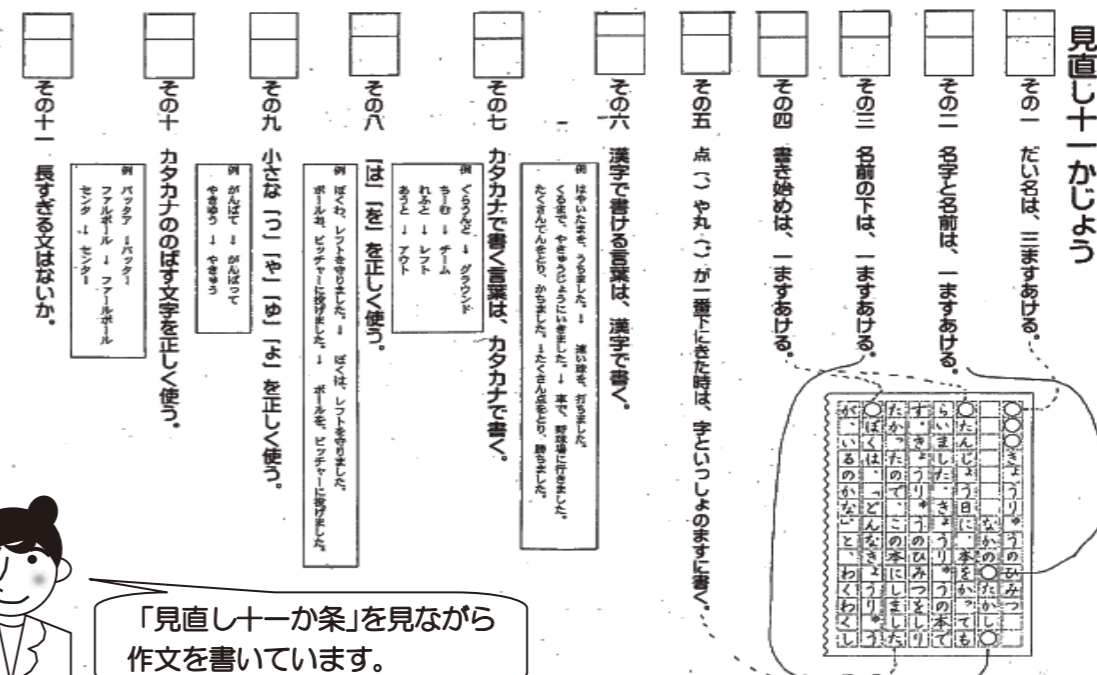


この2つが支援のポイントです。

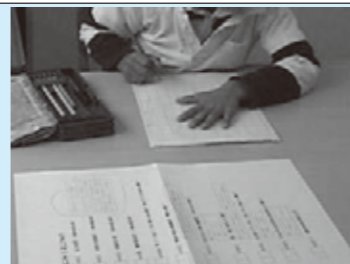


## 一丁寧に書くことが苦手な児童への指導一

### 作文「見直し十一か条」(指導内容・方法の工夫)



「見直し十一か条」を見ながら作文を書いています。



- (1)「作文作成手順シート」を開発し、作文づくりに見通しがもてるようにしました。
- (2)「見直し十一か条」を開発し、原稿用紙の使い方や誤字・脱字等を、児童自らがチェックできるようにしました。



分かりやすい文章が書けるようになってきました!

★本児は、在籍学級でも落ち着いて学習に取り組むことができるようになり、ノートも丁寧に字で書けるようになりました。

◆「(文字を)丁寧に書く」ことを目標とする児童の場合には、「自分で振り返ることのできる」ツールの開発が有効であることがわかりました。

